平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年10月11日

上場会社名　買取王国　　上場取引所　東
コード番号　3181　URL　http://www.okoku.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長谷川　和夫
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長　(氏名) 壬生　順三　TEL 052-304-7851

四半期報告書提出予定日　平成25年10月11日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第2四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年8月31日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	2,516	―	129	―	132	―	76	―
25年2月期第2四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	43.51	―
25年2月期第2四半期	―	―

当社は、平成25年2月第2四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成26年2月期第2四半期の売上高等の各金額、対前年同四半期増減率及び平成26年2月期第2四半期の前年同四半期増減率の記載をしておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第2四半期	3,224	1,428	44.3	813.33
25年2月期	2,981	1,369	45.9	779.82

(参考) 自己資本　26年2月期第2四半期　1,428百万円　25年2月期　1,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	―	0.00	―	10.00	10.00
26年2月期	―	0.00			
26年2月期(予想)			―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 2月期の業績予想(平成25年 3月 1日～平成26年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,840	8.1	515	7.3	515	10.2	296	10.1	168.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	1,756,000 株	25年2月期	1,756,000 株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	― 株	25年2月期	― 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	1,756,000 株	25年2月期2Q	― 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビューは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）「業績予想に関する定性的情報」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 ……7
（４）継続企業の前提に関する注記 ……8
（５）セグメント情報等 ……8
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の大胆な金融緩和に対する期待などから株価や心理面が急速に改善し、個人消費においても株高に伴う資産効果により耐久財、半耐久財消費が大きく伸長し、サービス消費についても堅調な推移となりました。

当リユース業界では、高級時計及びハイブランド商品の動きは活発になったものの、景気の回復を強く感じるような状況には至っておりません。

このような状況の下、当社は、関西地域における３店舗目の出店として、買取王国高槻店（大阪府高槻市）を平成25年８月３日にオープンいたしました。また、ウィメンズ衣料分野の営業強化のため、子会社として株式会社ペイフォワードを平成25年８月８日に設立しております。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は2,516百万円、営業利益は129百万円、経常利益は132百万円、四半期純利益は76百万円となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前事業年度末に比べて227百万円増加し、2,238百万円となりました。これは、現金及び預金が239百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて15百万円増加し、986百万円となりました。これは、投資その他の資産が17百万円増加したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ243百万円増加し、3,224百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末と比べ12百万円減少し、650百万円となりました。これは、１年内返済予定長期借入金が87百万円増加したのに対し、短期借入金が100百万円減少したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べ197百万円増加し、1,145百万円となりました。これは、長期借入金が193百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末と比べ184百万円増加し、1,796百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末と比べ58百万円増加し、1,428百万円となりました。これは、四半期純利益等により利益剰余金が58百万円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前事業年度末に比べて239百万円増加し、885百万円となりました。当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は121百万円となりました。これは主に、税引前四半期純利益132百万円

により資金が増加した一方、法人税等の支払額84百万円により資金が減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は46百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出23百万円及び子会社株式の取得による支出15百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は163百万円となりました。これは主に、借入金の純増額181百万円によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成25年４月12日付「平成25年２月期決算短信」にて公表いたしました業績予想から修正を行っておりません。なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期会計期間より、平成25年３月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更が、当第２四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期財務諸表
（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 （平成25年２月28日）	当第２四半期会計期間 （平成25年８月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	646,820	885,960
受取手形及び売掛金	79,082	68,553
商品	1,180,561	1,176,803
その他	104,116	107,091
流動資産合計	2,010,581	2,238,408
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	244,901	241,293
土地	280,342	280,342
その他（純額）	75,069	77,790
有形固定資産合計	600,313	599,426
無形固定資産	28,934	27,798
投資その他の資産		
差入保証金	272,993	275,597
その他	68,259	83,280
投資その他の資産合計	341,253	358,877
固定資産合計	970,501	986,103
資産合計	2,981,082	3,224,511
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,809	30,273
短期借入金	100,000	－
1年内返済予定の長期借入金	292,991	380,728
未払法人税等	90,324	61,918
賞与引当金	16,347	18,028
ポイント引当金	13,042	8,682
その他	128,797	151,166
流動負債合計	663,311	650,798
固定負債		
長期借入金	853,421	1,046,957
退職給付引当金	20,800	21,800
資産除去債務	73,405	75,976
その他	780	780
固定負債合計	948,406	1,145,513
負債合計	1,611,717	1,796,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	330,319	330,319
資本剰余金	260,319	260,319
利益剰余金	778,727	837,562
株主資本合計	1,369,365	1,428,200
純資産合計	1,369,365	1,428,200
負債純資産合計	2,981,082	3,224,511

（２）四半期損益計算書
（第２四半期累計期間）

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成25年３月１日 至　平成25年８月31日）
売上高	2,516,387
売上原価	1,161,018
売上総利益	1,355,368
販売費及び一般管理費	1,226,069
営業利益	129,298
営業外収益	
受取利息	77
受取手数料	10,022
その他	1,095
営業外収益合計	11,196
営業外費用	
支払利息	6,703
その他	1,023
営業外費用合計	7,726
経常利益	132,768
税引前四半期純利益	132,768
法人税等	56,373
四半期純利益	76,394

(3)四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第２四半期累計期間 （自　平成25年３月１日 至　平成25年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純利益	132,768
減価償却費	31,620
賞与引当金の増減額（△は減少）	1,681
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△4,359
退職給付引当金の増減額（△は減少）	1,000
受取利息及び受取配当金	△78
支払利息	6,703
売上債権の増減額（△は増加）	10,528
たな卸資産の増減額（△は増加）	3,758
仕入債務の増減額（△は減少）	8,463
未払金の増減額（△は減少）	15,191
その他	4,520
小計	211,798
利息及び配当金の受取額	78
利息の支払額	△5,921
法人税等の支払額	△84,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	121,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△23,750
無形固定資産の取得による支出	△2,750
差入保証金の差入による支出	△3,241
子会社株式の取得による支出	△15,000
保険積立金の積立による支出	△887
その他	△476
投資活動によるキャッシュ・フロー	△46,105
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額（△は減少）	△100,000
長期借入れによる収入	550,000
長期借入金の返済による支出	△268,727
配当金の支払額	△17,560
財務活動によるキャッシュ・フロー	163,713
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	239,139
現金及び現金同等物の期首残高	648,820
現金及び現金同等物の四半期末残高	885,960

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報等

当社は、総合リユース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。